

東京の銭湯とタイル関連企画 見学ツアー

「林丈二さんとまち歩き～ むかし銭湯があったまちで」

林丈二さんは、モザイクタイルミュージアムをデザインした藤森照信先生とともに路上観察学会の会員であり、マンホールのふたや狛犬など、町中で見られる身近な存在の研究で知られています。そんなまち歩きの達人とともに、かつて市内に40件はあったという銭湯の痕跡を手掛かりに、知っているようで知らない「多治見」を観察してみましょう。

- 講師 林丈二
- 協力 文京建築会ユース
- 開催日時 2018年5月20日(日) 10:00～16:00頃
- 集合場所 笠原中央公民館 視聴覚室
- 概要 笠原中央公民館でまち歩きのコツを聞く
→町歩き(旧銭湯の見学を含む)
→笠原中央公民館で休憩
(発見したものを写真でシェアします)
- 対象 中学生以上
- 定員 20名(先着順)

●お申込方法 下記メールまたはFAXにて、①お名前、②人数、③ご連絡先をお知らせください。後日、担当から持ち物などご連絡いたします。

メール：info@mosaic-tile-museum.jp

FAX：0572-43-5114

林丈二：

著述家。イラストレーター。明治文化研究家。1947年東京生まれ。1972年、武蔵野美術大学産業デザイン学科卒業。1984年『マンホールのふた(日本篇)』(サイエンティスト社)出版。1986年に藤森照信、赤瀬川原平等とともに路上観察学会発足。他、著書多数。



1999年「路上探険 in たじみ」より 撮影 林丈二


MOSAIC TILE
MUSEUM
Tajimi

お問合せ先
多治見市モザイクタイルミュージアム(担当 村山)
住所 〒507-0901 多治見市笠原町2082-5
電話 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114
URL <http://www.mosaic-tile-museum.jp>